

平成 21 年 3 月 9 日

各 位

シミック株式会社

health クリック CKD（慢性腎臓病）に関するアンケート調査結果
およびキャンペーン開始のお知らせ
～CKD の認知率はわずか 10% という結果に～

当社の子会社である株式会社ヘルスクリック（代表取締役：清水昭、本社：東京都品川区、以下ヘルスクリック）は、同社が運営する健康ポータルサイト『health クリック（<http://www.health.ne.jp/>）』にて、「CKD に関するアンケート調査」を実施しましたのでその結果をお知らせすると同時に、「CKD キャンペーン」を開始しましたのでお知らせします。

記

『health クリック』は、生活習慣病をはじめとした様々な疾患の予防を目的として、健康一般情報及び疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです（月間 1,200 万ページビュー、ユニークユーザー数 140 万人）。

このたび『health クリック』サイト上にて、「CKD に関するアンケート調査」を実施しました。それに伴い、疾病啓発活動の一環として、本日より『health クリック』サイト上にて「CKD（慢性腎臓病）キャンペーン（2009 年 3 月 9 日～4 月 5 日）（URL：<http://www.health.ne.jp/bknumber/20090321.html>）」を開始しました。

CKD の日本における推定患者数は、1,330 万人といわれています。この「新たな国民病」ともいわれる CKD について、一般消費者の皆様には正しい理解を深めていただき、早期発見、早期治療に役立つよう、本キャンペーンを通じて情報を提供してまいります。

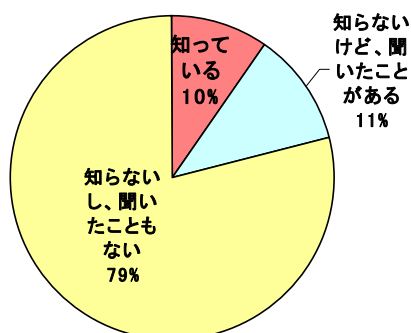
※CKD（慢性腎臓病）：タンパク尿や腎機能低下がみられ、将来的に透析への移行や心筋梗塞や脳梗塞、脳卒中などを合併する危険性の高い症候群です。

1. 「CKD（慢性腎臓病）に関するアンケート調査」結果

実施期間 : 2009年1月26日～2月22日
有効回答者数 : 719名
内訳 : 男性 307名、女性 406名、無回答 6名
年代 : 10代 8名、20代 81名、30代 215名、40代 194名、50代 136名、
60代 68名、70代 13名、80代 2名、無回答 2名

■CKDの認知率は、わずか10%

「あなたはCKDという病気を知っていますか。」



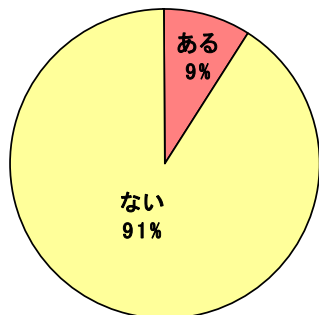
「あなたはCKDという病気を知っていますか？」の問いに対し、「知っている」と回答したのは719名中69名で、わずか10%という結果となった。

CKDの認知率の低さが浮き彫りになった形だ。

さらに、「CKDがメタボリック・シンドロームと同様に心疾患のリスクを高めることを知っているか」の問いに対しては「知らない」が85%と、病態そのものについて理解していない人が多いことが分かる。

■早期発見のための検査実施率も低く

「自宅で尿検査をしたことがありますか。」

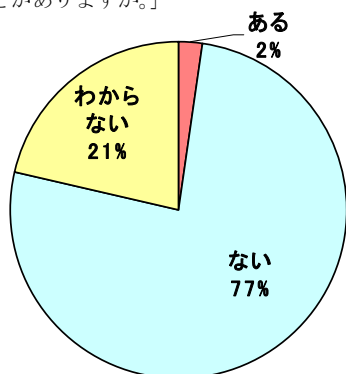


CKDは自覚症状に乏しく、蛋白尿などの異常を発見する尿検査によって早期発見が可能となる。

そこで「自宅で尿検査をしたことがありますか？」という質問をしてみたところ、「ある」とする回答は9%に留まり、家庭における尿検査はまだ浸透していない現状であることが分かった。

■CKDと診断された人の現状

「あなたはCKDにかかっているといわれたことがありますか。」



「あなたはCKDにかかっているといわれたことがありますか？」の問いに対し、「ある」とする回答は719名中15名で、2%という結果となった。

日本における推定患者数（1,330万人）と比較すると、まだ診断・治療に至っていない潜在患者が多くいるものと考えられる。

「ある」と回答した人のうち、かかりつけ医や腎臓専門医に定期的に通院している人は約80%。通院しない人の理由としては、「症状がない」「時間がない」となっている。

CKDは初期の段階ではほとんど自覚症状が出ないため、定期的に尿の検査を行うことが大切だ。また、CKDにかかった場合は、腎臓機能が低下して透析を受ける段階にまで進行しないよう、定期的な通院を続け、適切な栄養・生活指導を受けることが重要とされる。

2. 「CKD（慢性腎臓病）キャンペーン」の概要

『health クリック』では、一般消費者が CKD という新しい症候群について正しい知識を身につけ、適切な治療を受けることを目的として、「CKD キャンペーン（URL：<http://www.health.ne.jp/bknumber/20090321.html>）」を約1ヶ月にわたって展開します。

日本腎臓学会理事長 榎野 博史先生に CKD の基礎知識や対策についてお伺いした「ドクターインタビュー」「CKD 健康用語」「CKD 図書館」など有用な情報が満載です。



| | |
|--|---|
| <p>3月12日は世界腎臓デーです</p> <p>「世界腎臓デー」は、腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、毎年3月第2木曜日に実施することが定められています。今年の「世界腎臓デー」は3月12日。現在、日本の慢性腎臓病の患者さんは1,330万人ともいわれおり、この「新たな国民病」ともいえるCKD(慢性腎臓病)について、正しい理解を深め、早期発見、早期治療に努めましょう。</p> | <p>ドクターインタビュー</p>  <p>日本腎臓学会理事長 榎野先生に、CKDの基礎知識やその対策についてのお話をお伺いしました。</p> <p>詳しくはこちら</p> |
| <p>CKDアンケート調査結果</p>  <p>719名から回答を頂きました！「CKD」という病名を知っているのは10人に1人など興味深い結果がズラリ。</p> <p>詳しくはこちら</p> | <p>CKD(慢性腎臓病)とは？</p>  <p>CKDは心疾患のリスクを高めたりする怖い病気。なぜCKDが注目されるようになったのか、ご紹介します。</p> <p>詳しくはこちら</p> |
| <p>CKD健康用語</p>  <ul style="list-style-type: none">・血清クレアチニン・心血管疾患(CVD)・人工透析 <p>もっとみる</p> | <p>CKD図書館</p>  <ul style="list-style-type: none">・腎臓が弱い人はなぜたんぱく質の制限が必要か？・尿の異常で分かる病気は？ <p>もっとみる</p> |

今後も『health クリック』では引き続き、健康を追求する一般消費者の皆様に正しい情報・知識を普及させるべく、健康関連産業が有する優良なヘルスケアコンテンツを集約し、ユーザの役に立つ幅広いコンテンツメニューを取り揃えてまいります。

以 上

【「CKDに関するアンケート」に関するお問い合わせ】

株式会社ヘルスクリック 担当 八木・三上 03-5745-6505

【シミック株式会社】



日本初の CRO（医薬品開発受託機関）として、モニタリングやデータマネージメント業務、被験者募集や臨床試験コーディネーター業務等、医薬品開発の周辺業務の支援を行ってまいりました。開発から製造、販売まで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、PVC（Pharmaceutical Value Creator）として製薬企業の価値最大化に取り組んでいます。また、日本だけではなくアジア（中国・韓国・シンガポール・台湾）、米国、ブラジルに拠点を構え、幅広く業務を展開しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.cmic.co.jp/>

【株式会社ヘルスクリック】



株式会社 NTT データとの合弁会社として平成 15 年 6 月に設立しました。主に、疾病啓発活動（特に「health クリック」を用いた活動）、疾患に関する意識調査／行動変容調査、病診連携支援システム「連携くん®」の販売・開発、臨床試験の被験者募集業務、24 時間健康コールセンターの運営等を行っています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.healthclick.co.jp/>
